

# 危険なささやき

アラン・ドロンの第1回監督作品 ◆ 製作・監督・主演 ■ アランドロン ● アンヌ・バリロー ● ミシェル・オークレール ● カラー・フランス映画  
● アデル・プロダクション作品 ● 配給 ● 地産 ● 配給協力 東映ユニバースフィルム ● 協力 日本航空

この秋「地産」がお贈りするドロンの大作サスペンスロマン

誰かが私を狙っている――

パリの闇について、閃光の《標的》が突っ走る！

POUR  
LA PEAU  
D'UN FLIC

時。今、燃え上る――




POUR LA PEAU D'UN FLIC

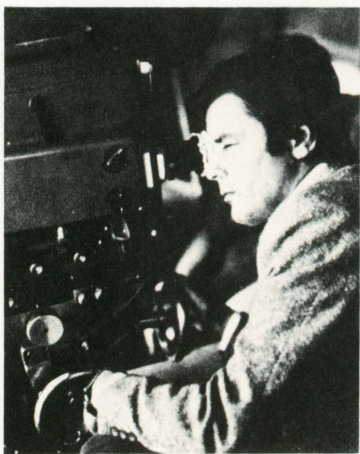
アラン・ドロン第1回監督作品

●製作・監督・主演／アラン・ドロン  
アンヌ・パリロー／ミシェル・オークレール

# 危険なささやき

●アデル・プロダクション作品／カラー・フランス映画  
●配給／ 地産  
●配給協力／東映ユニバースフィルム

の輝きをフラッシュさせて、4年ぶりに日本のスクリーンに帰って来た！  
「危険なささやき」——それは、ドロン通算61本目の新作。しかし、タタの61本目とは違う。スター、ドロンが念願の監督業に乗り出した記念すべき第一作。クレマン、ピスコンティ、アンリコ、メルビルら幾多の名匠たちに培われた魅力、その全てを叩き込んだ話題のサスペンス・ロマンだ。



**永遠のスーパースター「ドロン」が4年の沈黙を破った！**

アラン・ドロン。それは、不死鳥の代名詞。二ノ・ロータの名旋律が忘れられない、あの「太陽がいっぱい」で、大スターへの一步を踏み出して以来、「冒険者たち」、「あの胸にもういちど」などの名作に主演して二十余年。変らぬ若さ、コンスタントなヒット、常に磨き抜かれた男の色香で、映画の世界のみならず、実業家として、またTVコマーシャルの顔としても、依然、世界のスーパースターの座に君臨する男——。その彼が、永遠

## 夜のしじまを撃て！

ドロン、心憎いまでのサスペンス演出

私立探偵シユカス（ドロン）は、元妻腕の刑事。事件は失踪した娘を探してほしいという中年女性の依頼から始まった。ところが、警察の不審な干渉、依頼人の惨死、そして、謎の脅迫者たちの暗躍——と、次々奇妙な出来事がひん発。果たせるかな、獲物を追うはずだったシユカスは、自分こそ「標的」と気が付く。その時、愛用のコルト45を握る手に、ぎゅつと力がこもった——！

「サムライ」（67）「さらば友よ」（68）  
「シシリアン」 「ボルサリーノ」（69）「仁義」（70）——数々の傑作フィルム・ノワールに主演してきたドロンが、ここに初の監督／主演で、自ら佳作をつけ加えた。歳月は変れどドロンはドロン。その魅力、やつぱり最高にテイステイなのだ——。



## ドロンが発見—— うわさの新星アンヌ・パリロー

キャストはドロンをめぐって、そのロマンチック・パートナーとして話題の新星アンヌ・パリロー（ガールズ）を大抜擢。エル、ルイ誌などのカバーを飾る売れっ子で、ここではドロンとの私生活上のウワサ（？）をウラ書きするようなホットな絡みを展開。フランス映画に久々のニュー・ヒロインが登場した感じだ。



●特別鑑賞券好評発売中！

¥1,200（当日一般1,500円／学生1,300円の処）

《劇場窓口でお買上げの方にアラン・ドロン特製ポスタープレゼント》

11月中旬ロードショー

歌舞伎町コマ劇場前

新宿 **ミラノ座** (202) 1189

東急文化会館1F

渋谷 **パンテオン** (407) 7219